

九州観光推進機構 活動レポート

— 2012年1月号 —

感動がある。物語がある。九州



◆ 12月のトピックス

○ 「まちあるき観光セミナー」を開催（12月1日～2日：鹿児島県さつま町）

国土交通省九州運輸局との共催により、着地型観光の普及と着地型旅行商品づくりの啓発を目的とする「まちあるき観光セミナー ～ぶらりさつま体験ツーリズム～」を開催し、28名が参加しました。

セミナーでは、まち歩きの達人・東川隆太郎氏（まちづくり地域フォーラムかごしま探検隊代表[鹿児島市]）の案内によるさつま町内まち歩き体験、民泊・教育旅行の第一人者・下津公一郎氏（エコ・リンク・アソシエーション代表[南さつま市]）、食を通じた町おこしで知られる本田節氏（ひまわり亭代表[人吉市]）

による着地型観光の講義を行い、その魅力や、おもてなしの必要性について学習しました。また、農家民泊を体験し農家の皆さんとの交流を通して「おもてなし」の心を深めてもらいました。

参加者からは、「“ぶらり”訪れたさつま町内での体験、学習、交流は、今後のまちづくりを考えるよい機会となった」とのご意見をいただきました。



○ 中国・有力メディア(ファッション誌)幹部等を招請（12月3日～6日鹿児島、熊本、福岡）

九州内の関係自治体及びJR九州と連携して、中国の「桦榭中国」グループの幹部を招請し、九州の観光地の視察を行いました。一行は霧島、指宿、熊本、福岡等を訪問し、九州が誇る観光資源やおもてなしに触れて強い感銘を受けていました。

同社は中国において「ELLE」をはじめとする人気ファッション誌等を出版し、強い情報発信力を有するとともに、会員向けの旅行販売促進にも実績があることから、今後同社と連携して中国での九州観光PRを行い、認知度向上と観光客の誘致に努めていきます。



○ タイ・旅行会社を招請（12月5日～11日：福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島）

訪日ツアー販売に力を入れているタイの旅行会社8社を招請し、九州の観光地を紹介しました。これまでタイ市場では、北部九州を廻るツアーのみの販売が多かったため、今回の招請では南部九州を含めた観光地を巡っていただきました。初めて南九州を訪れたという方も多く、現地の魅力を肌で感じてもらい、「今後、九州の旅行商品造成に積極的に取り組みたい」との力強いコメントがありました。これを契機に、九州の新規商品造成をタイの旅行各社に働きかけ、誘客拡大を図っていきます。



○ 台湾・エバー航空福岡便新機材就航到着便を出迎え（12月7日：福岡）

エバー航空は、台北福岡線にサンリオ社と提携し、機体にハローキティを描いた最新鋭機エアバス330-300型機（309座席）を導入したため、当機構は、九州運輸局、福岡県、福岡市とともに、就航日の到着便を、福岡空港国際線ターミナル1階ロビーで横断幕を掲げて出迎えました。今回の歓迎は台湾からのお客様に大変喜ばれるとともに、一緒に写真撮影をする姿が多数見受けられました。

また、同日2階ロビーにおいて開催された出発便の新機材就航式典には、台北駐福岡経済文化弁事処・曾処長をはじめ、九州運輸局、福岡県、福岡市、当機構等行政関係機関が参加し、最新鋭機の就航を祝いました。

今回の就航で飛行機の座席は252席から309席に拡大しており、今後の台湾から九州への入国者数の一層の増加が期待されます。



○ 中国・天津市教育関係者等を招請（12月8日～12日：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分）

中国の四大直轄市の一つである天津市から、小中学校の副校長を中心に教育関係者等を招請し、九州の教育関係施設及び観光地の視察を行いました。一行は福岡、佐賀、長崎、熊本、大分の5県を巡り、地元の小学校や平和教育及び産業観光関連施設等を視察したほか、日中の絆が感じられる長崎歴史文化博物館で開催中の「孫文と梅屋庄吉展」及び荒尾市の「宮崎兄弟資料館」を訪れました。

東日本大震災の影響で停滞していた中国の教育旅行市場では、九州への旅行で実績をあげている天津市をはじめ、各地で回復の兆しが見られます。九州が教育旅行の主要な目的地として評価を受けるよう取り組んでいきます。



○ 日本観光研究学会「第4回研究論文発表会」に参加（12月10日：福岡市）

日本観光研究学会九州・韓国南部支部主催、当機構及び九州運輸局後援による「第4回研究論文発表会」が九州産業大学において開催され、応募論文12件が2会場に分かれて発表されました。

当機構からは、高橋事業副本部長が審査員として参加し「九州観光推進機構会長賞」を授与しました。九州観光推進機構会長賞には、福岡女学院大学の「被災地の観光地化—新しい可能性ジオパーク—」「宇宙観光の可能性」の2件が選ばれました。

なお、九州運輸局長賞には、大分大学の「東日本大震災が大分県内在住者の観光に及ぼした影響について」、福岡女学院大学の「城は地域を救うか」、日本観光学会会長賞は、九州産業大学「Wi-Fiを使った観光情報のあり方」、長崎国際大学の「メディカルツーリズムの現状と将来像」が選ばれました。



○ 「西日本広域観光ルート開発 旅行会社ファミトリップ」を実施（12月12日～17日：福岡、長崎）

関西経済連合会を中心に、西日本の広域経済団体及び観光団体によって構成される「西日本広域観光ルート検討会」の事業として、中国の有力旅行会社による西日本広域観光ルート（九州～中国～四国～関西）のファミトリップを実施しました。

九州には上海市・江蘇省の旅行会社から8名が訪れて、2泊3日（12月12日～14日）の日程で長崎県壱岐市、福岡市、北九州市を視察しました。特に、壱岐は中国の旅行会社の招請は初めての試みであるため、関係者の皆様との意見交換会を開催し、壱岐の観光素材や商品造成の可能性等について有意義な意見交換を行うことができました。

今回は、関西～関東のゴールデンルートに対抗する西日本ルート開発のための調査として位置づけており、同ルートは一定の需要が見込まれるため、今後も九州外の各地域と連携した誘客に努めていきます。



○「九州観光セミナー in 新潟」を開催（12月14日：新潟市）

2011年10月、福岡・新潟空港間のフジドリームエアラインズの新規就航に伴い、同路線の利用促進を図る新潟県の要請を受けて、北陸地方の政令市では初めて「九州観光セミナーin 新潟」を開催しました。

セミナーには旅行会社等から約40名が参加し、マスコミ5社の取材がありました。報道を見た一般の方から九州観光のモデルコースについての照会があり、九州への関心度の高さが窺われました。新潟県は、来年度、九州での航空路線PRを予定しており、新潟発九州旅行商品の増加が期待されます。



○「東北・九州・沖縄合同観光展」を開催（12月17日～18日：大阪市）

東日本大震災の復興イベントを通して、九州新幹線鹿児島ルート全線開業による誘客増を図るため、JR大阪駅において、東北6県（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）、在阪九州各県協議会により合同観光展を開催しました。

同観光展は、観光大使による観光PR、ゆるキャラ大集合、奄美島唄、東北と九州がつながるクイズ大会など数多くのイベントを実施し、この冬一番という冷え込みながらも、2日間で8千人の来場者がありました。また、前々日から2日間にわたり、ラジオ大阪は両地方の観光情報を広く発信しました。これほど広域的な合同観光展は過去に例がなく、両地方の観光素材を対比させて、それぞれ地域の魅力を引き立たせるとともに、九州サイドが事業全体のコーディネートに専念したことから、東北支援の目的も果たすことができました。



○タイ・テレビ局を招請（12月17日～23日：福岡、長崎、熊本、大分）

タイの人気テレビ番組「サムットコージョン」の取材班8名を招請し、各地の体験型観光施設、食、温泉を中心に取材が行われました。同テレビ局は、今回の取材をもとに番組を制作し、2012年2月より4週にわたって放送します。

九州の観光地の選定、番組構成については、タイ人の興味のある「食べる」、「買う」に着目し、テレビ局のスタッフと密に連絡を取り合いました。取材により、内容の濃い視聴率の高い番組になることが期待され、九州の認知度向上と今後の誘客に高い効果が見込まれます。



○「九州教育旅行現地視察会」を実施（12月23日～25日：長崎、佐賀、大分、福岡）

近畿・山陽地区の中学校の教職員を中心に、九州の最新の教育旅行素材を体験していただくため、北部九州4県の修学旅行現地研修を実施しました。「百聞は一見にしかず、大変参考になった」との意見を多くいただき、平和学習や体験学習に関する素材が好評でした。

本格的な寒波到来のため、予定していた体験学習の一部を変更または中止しましたが、長崎県松浦は初めて訪れる先生方が多く、豊富な体験学習に強い関心を示されました。実施時期は、年度末を除く三連休、次いで夏休み、春休みなど先生方が休みを取りやすい時期を希望されており、南九州の視察会の実施についても要望がありました。



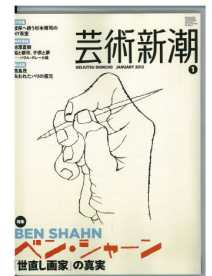
○ 小学館取材に協力（12月）

小学館「BE-PAL」と協力して実施している「九州産業遺産群と九州自然歩道」の第2弾として、佐賀県と長崎県の産業遺産群の取材に協力しました。佐賀「三重洲海軍所跡」、伊万里「川南造船所跡」、長崎「軍艦島」、西海「崎戸鉱山跡」、佐世保「針尾送信所無線塔」のほか、その周辺の九州自然歩道の取材が行われ、「BE-PAL」12月10日発売分（17万部発行）から3～4回にわけて連載されます。小学館担当者からは「読者の反響が大きい」とのコメントがあり、取材地への来客増が期待されます。



○ 新潮社取材に協力（12月）

新潮社「芸術新潮」に新規提案して実現した、九州で話題の「山本作兵衛氏」の作品とその人生を紹介する田川、飯塚での取材に協力し、12月25日発売の「芸術新潮」（5万部発行）に紹介されました。山本氏の九州以外での認知度は低く、新鮮な情報として読者にとらえられており、掲載後、編集部によくの問い合わせが来ています。



○ ハースト婦人画報社取材に協力（12月）

ハースト婦人画報社「婦人画報」に、2012年が「古事記1300年」に当たることを考慮して実現した、女優の南果歩さんの起用による、宮崎市「青島神社」、日南市「鶴戸神社」、高千穂町「高千穂峡」「高千穂神社」「旅館神仙」、熊本県山都町「幣立神社」などの取材に協力し、12月28日発売の「婦人画報」（10万部発行）に紹介されました。南果歩さんご自身のブログにもアップしていただいております、効果的な取材となりました。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 「第4回産学連携オープンセミナー in 福岡」の開催について

社団法人日本観光振興協会と当機構が連携して「第4回産学連携オープンセミナー in 福岡」を開催します。このセミナーは、九州が一丸となって九州観光立圏を目指して、今一度九州の魅力を明らかにし、その方策をご参加の皆様と一緒に考えていくことにしています。ツーリズムに関わる皆様のご参加をお待ちしております。

1. 主催・後援 主催：社団法人日本観光振興協会
後援：観光庁、九州観光推進機構ほか
2. 開催日時 2012年2月27日（月）14時～17時
3. 開催場所 レソラN T T 夢天神ホール（福岡市中央区天神2-5-55 レソラ天神5F）
4. 参加対象 観光産業に従事する団体・企業の社員、マスコミ関係者、観光産業に関心の高い大学生、専門学校生の方々
5. 内容
 - (1) 基調講演
「平成の開国 ～九州観光立圏を目指して」町 孝氏（JR九州高速船株式会社 代表取締役社長）
 - (2) 学生による観光研究発表・表彰式
 - (3) パネルディスカッション
「九州のこれからの観光を考える～九州訪日外国人100万人時代～」
 - ・コーディネーター：千 相哲氏 <九州産業大学 商学部 学部長>
 - ・パネリスト(五十音順)： 安徳 勝憲氏 <長崎国際大学 人間社会学部 教授>
町 孝氏 <JR九州高速船(株) 代表取締役社長>
丸山 康晴氏 <博多ターミナルビル(株) 代表取締役社長>
宮原 敬介氏 <(株)JTB九州 代表取締役社長>

6. 募集人員 200名（先着順） 入場無料
7. 申込方法等 詳しくは日本観光振興協会ホームページをご覧ください。
(<http://www.nihon-kankou.or.jp/home/committees/report/event/20120227.html>)
8. お問い合わせ先 社団法人日本観光振興協会 委員会事務局 TEL 03-6222-2537

○ 1月以降の主な予定

- ・台湾・テレビ局(民視)招請 (1月7日～16日:福岡、熊本、宮崎、鹿児島)
- ・香港・テレビ番組「ジャパナビ」招請 (1月8日～14日:福岡、熊本、鹿児島)
- ・九州オルレ最終視察 (1月15日～19日:佐賀、熊本、大分、鹿児島)
- ・「ひなの国九州フェスタ」開催 (1月17日～29日:太宰府市)
- ・中国・九州情報誌「南国風」招請事業 (1月24日～27日、2月7日～10日:九州各地)
- ・「おもてなしフォーラム2012 in 九州」開催 (1月26日:福岡市)
- ・韓国・地方都市旅行会社マスコミ関係者等招請 (1月31日～2月4日:九州各地)
- ・JNTO「インバウンド旅行振興フォーラム」参加 (2月2日～3日:東京)
- ・インドネシア「ジャパントラベルフェスタ」出展 (2月8日:ジャカルタ)
- ・「第5回九州観光ボランティアガイド大会 in おおいた」開催 (2月9日～10日:大分)
- ・タイ「バンコクシスターシティウィーク」出展 (2月9日～12日:バンコク)
- ・「九州・沖縄春の大観光展」開催 (2月18日～19日:広島県安芸郡府中町)
- ・タイ「Thai International Travel Fair 2012」出展 (2月23日～26日:バンコク)
- ・シンガポール「NATAS」出展 (2月24日～26日:シンガポール)
- ・「第4回産学連携オープンセミナー in 福岡」開催 (2月27日:福岡市)
- ・韓国・九州オルレコース発表会・視察に係る招請 (2月29日～3月4日:九州各地)
- ・中国「2012日本商品直送 in 中国」出展 (3月2日～4日:上海市)
- ・2011年度「第3回評議員会」開催 (3月8日:福岡市)
- ・シンガポール「九州観光説明会・商談会及び教育旅行セミナー」開催 (3月9日～10日:シンガポール)
- ・2011年度「第3回理事会」開催 (3月22日:福岡市)

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 松尾

TEL : 092-751-2943 E-mail : info@welcomekyushu.jp